

中田かわら版 9月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

“自然の中で人格の形成を目指す” ボーイスカウト



上進式（進級式）の様子

みなさんボーイスカウトをご存知ですか。ボーイスカウトは自立心のある健全な青少年の育成を目指した世界的社会教育運動の一つであり、少年少女の好奇心や探究心にこたえる活動をとおして、心身ともにバランスの取れた人格の形成を目指しています。現在、世界 154 カ国に 2,800 万人、日本では約 18 万人がボーイスカウト運動に参加しています。

中田のボーイスカウトは正式には“ボーイスカウト横浜第 31 団”という名称で、横浜に 4 つある地区協議会の一つ、横浜南央協議会に所属しています。団委員長は、御霊神社宮司でもある宮本忠直氏。生い立ちは、58 年前の昭和 27 年に、前宮司の故宮本幾郎氏が、当時の地域社会を明るく正しいものという意図のもとに、中田子供会を発展的に解消し、教化活動の一環としてボーイスカウトが発足しました。現在の構成員は、幼児 5 名、小学生 26 名、中学生 19 名、高校生 10 名、指導員 42 名、計 102 名となっています。主な活動としては、小



小正月に行うさいと焼き



縛材法の訓練

正月のさいと（だんご）焼き、スキー、桜祭り、野営、カントリ大作戦（地域ゴミ拾い）、キャンプ、中田連合のサマーフェスティバル、大運動会、御霊神社例大祭、横浜みなと祭り、など実に多岐にわたっています。活動を通じて子供たちは様々なことを学びます。グループ内やグループ間での仲間作りや協調性、ルールやマナー（挨拶と礼儀）、探究心・好奇心（意欲）・技能の向上、自然環境への感謝や親しみなど。宮本団委員長は特に「**野外や自然の中での自主性、協調性の確立**」を強調されました。

今回は、宮本団委員長にお話を伺い、かつ写真や資料のご提供を頂きありがとうございました。

（編集委員 奥津榮一）

※（訂正）…前号の記事“わが町「中田の今、むかし」”の下から 6 行目の蟄居（きつきよ）とあるのはちつきよの間違いでした。

10月のイベント

【中田連合・大運動会】

日程：10月10日(日)

8:30 開会式 9:00 競技開始

場所：中田小学校グラウンド

内容：大縄跳びやリレー、玉入れなどたくさんの競技を行います。みなさん、自分の町内会を応援しましょう。雨天時は中止です。

【葛野コミュニティーハウス文化祭】

日程：10月2日・3日

場所：葛野コミュニティーハウス
作品やダンスの発表など

【東中田小ふれあい Doing】

日程：10月23日(土)9:30~12:00

雨天決行

場所：東中田小グラウンド

軽スポーツ、スライム作りなど

定期イベント情報

- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約) 10月20日(水) 11:45~踊場地域ケアプラザ
- 中田友遊会(高齢者サロン) 10月14日(木) 13:30~15:00 中田町会館
- 憩いの会(宮の台サロン) 10月7日(木) 12:00~14:30 宮の台町内会館
- ひまわり(広町サロン) 10月11日(月) 13:00~15:00 広町自治会館
- 町ぐるみ健康づくり活動 10月2日・16日(土) 10:00~11:30 立場地区センター
- 春日健康づくり教室 10月3日・17日(日) 9:30~11:00 葛野コミュニティーハウス
- 中田希望会(中途障がい者の会) 10月28日 踊場地域ケアプラザ
- 中田子育てサロン 10月8日(金) 10:15~11:45 踊場地域ケアプラザ
- 中田社協子育てサロン 10月28日(木) 10:15~11:45 葛野コミュニティーハウス
- 白百合愛児園(連絡先 805-5911)・園庭開放 毎週木曜日・土曜日
・図書の日 第1第4火曜 10:00~11:00
- にこにこパーク(親子の広場) 毎週月・水・金 10:00~15:00 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り 10月16日(土) 9:30~11:30 立場地区センター

◆ 「子ども水泳教室」無事終了

今年は高温で、水温も30度以上。100人の子ども達は、5人のコーチの教えをよく聞き、熱心に泳いでいた。3グループに分かれての練習は、体育指導員6~7人がプールに入り、コーチの補助を務め、水面監視も常時6人で教室を支えた。顔を水につけられない子ども混じる初心者のAグループでは、最終日の記録会でビート版を押して25mをバタ足で泳ぎきる子も見られた。さらに泳力が高まったBグループ、Cグループとともに、全員が見違えるほど生き活きと水に慣れ親しんでいる様子が見られ、関係者一同を大いに喜ばせた。記録会を見に来ていた50人程度の保護者もわが子共々その検討を讃え合った。来年も安全第一に“25mの泳力を求めて”子ども水泳教室を続けていきたい。

(体育指導委員 山木重樹)



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田(いくた)まで問い合わせください。

TEL 801-2114

FAX 801-2923